

ぎふ技術革新センター運営協議会・エネルギー関連産業コンソーシアム 共催
第2回技術セミナー

高耐熱・熱可塑性炭素複合材の量産、最新技術
～省エネ・ハイリサイクル、持続可能な社会の実現を目指す～

ぎふ技術革新センター運営協議会とエネルギー関連産業コンソーシアムは、「高耐熱・熱可塑性炭素複合材の量産、最新技術」をテーマに技術セミナーを開催いたします。

熱可塑性炭素繊維複合材（CFRTP）は、軽量・高強度に加えて、成形性やリサイクル性に優れ、大量生産に適した次世代材料です。軽量化・環境負荷低減に大きく貢献するCFRTPは、航空・宇宙、自動車、船舶など幅広い分野での需要が見込まれています。

このセミナーではCFRTP事業化実現に向けて第一線で活躍される講師をお招きし、その最新技術についてご講演を賜ります。

記

- 1 日 時：令和8年1月30日（金） 13：20 ～ 15：50
- 2 会 場：岐阜県産業技術総合センター 多目的ホール （岐阜県関市小瀬1288）
※講師のご都合により、オンライン会場での開催は中止とさせていただきます。
- 3 参 加 費：無料（定員50名、先着順）
- 4 内 容：

・講演1「福井県における炭素繊維複合材料の開発について」

講師：福井県工業技術センター 新産業創出研究部 部長 笹山 秀樹 氏

概要：福井県では、1989年から炭素繊維複合材料（CFRP）の研究開発に取り組んでおり、主に、強化繊維束の開繊技術（福井県特許）を活用した製造技術に関する技術開発を行ってきました。その技術開発は、基礎研究から中間基材（独自の薄層シート材）、成形まで一貫したものであり、航空機エンジン部材向け材料の製造にも活かされています。

・講演2「熱可塑性薄層プリプレグを用いたCFRTPの革新的一貫製造プロセス」

講師：フクビ化学工業株式会社 事業開発本部 CFRP 事業開発部 部長 鎌田 泰弘 氏

概要：CFRTPは軽量・高強度で耐熱性が高く広範な分野で需要拡大が見込まれる一方、その成形加工は、長時間を要し高いエネルギーコストから、材料普及の妨げとなっています。成形が困難であった高耐熱樹脂を用いた複合材の従来製造プロセスから、原材料から成形品までの一貫製造プロセスへと転換することに成功し、生産性の向上、低コスト化と製造エネルギーの大幅な削減を実現しました。ここではCFRTPの一貫製造プロセスについて、ご紹介いただきます。

【申込方法】

URL または二次元バーコードから申込フォームにアクセスいただき、
1月20日（火）まで に参加申込みください。

お申込み後、LoGo フォームから登録確認メールが届きます。

申込 URL <https://logoform.jp/f/Ffyln>

お申込はこちら



【問い合わせ先】 ぎふ技術革新センター運営協議会 事務局 担当 関、窪田、安藤

E-mail : info@tic-g.rd.pref.gifu.jp TEL : 0575-22-0147 FAX : 0575-24-6976